

一般質問

一般質問を行った議員名と質問項目（最初の質問項目について質問と回答の内容を要約）を掲載しています。



はせがわ こうせい 議員
長谷川 公成

- 安全・安心のまちづくりについて
- 市内公共施設の指定管理について

あしかり しげる 議員
芦刈 茂

- 体育複合施設について

問

児童への不審者対策の強化を

Q 7月1日及び2日に2日続けて小学校児童が不審者によって暴行を受ける事件が起きた。警察では、初動捜査が大切とされているが、今回の事件は、事件発生から警察に連絡するまでに時間がかかっており、もし近くに交番があればすぐに駆け込み、犯人逮捕まで時間はかからなかったと思う。本市も人口が7万人を超えたが、交番が2カ所というのは余りに少な過ぎる。今後、安全・安心のまちづくりの視点から犯罪減少を目指すため中学校区に1カ所交番が必要と思うが、市長の見解を求めます。

A 部長 市内の犯罪件数は、平成20年で752件、平成22年505件、平成24年461件で平成25年10月末現在で320件と年々減少しています。筑紫野署による警ら活動の強化と地域の防犯委員、見守り活動による防犯活動の成果と捉えています。また平成26年4月には、筑紫野署が分割され、春日市に新たな警察署が新設され、筑紫野警察署の管轄は、太宰府市と筑紫野市の2市となり、身近な警察署となるのでさらに連携を強化し、安全な地域づくりのため、交番設置を含む今後のあり方について、必要に応じ、要望、協議をしていかなければならないと思っております。



人口に見合った交番数を

問

市長は反対署名をどう考える

Q 11月21日付で議長あてに体育館建設に反対する市民の会から体育複合施設建設事業の凍結・中止を求める陳情が、6,478名の市民の署名を添えて提出された。
現実には、基本計画の提示、パブリックコメントを経て、梓設計による体育複合施設建設設計競技の作品が採用されている段階で、市民の間にこれだけの反対意見があるということは、議会としても深刻に受け止めなければならぬと考える。そこで、市長はこれだけの反対署名があったことをどのように思われるか伺う。

A 市長 今回の体育複合施設の建設につきましても、賛成や反対といったそれぞれの立場からの考え方があることも十分承知をしているところです。このことについては、長年にわたる市民の念願であるとともに、次世代を担う若者に夢と目標を与える競技スポーツ等への対応はもとより、少子・高齢社会に対応した子どもたちから中高年に至るまで気軽に健康づくりとスポーツに親しめる施設として私は計画どおり建設を進めていきたいと考えております。



体育複合施設建設設計競技採用作品

ふじ い まさ ゆき
藤井 雅之 議員

○国民健康保険税について

はら だ くみ こ
原田 久美子 議員

○市民農園について
○市内のバスの運行について
○佐野東まちづくりについて

問

関係法令と市民農園の位置付けは

Q

市民農園について二点伺う。
①平成2年に制定された市民農園整備促進法では、市町村は、市民農園区域を指定したときは遅滞なくこれを公表しなくてはならないとなっているが、本市は市民農園区域を指定したとき公表されているのか。

A

部長 ①本市における市民農園は、質問のように使用及び収益を目的と

する複雑な権利等の設定を伴う市民農園整備促進法に基づくものではないため、区域指定の公表等は必要なく、行っておりません。市民農園の利用促進として、更新時や空き区画が発生した場合、随時、市広報等によりPR、募集を行っております。

②市民農園の利用状況については、市内の9カ所に開設し、総区画数は212区画、利用期間は1年更新の通算5年までとなっております。利用料は全区画とも年額4千円で農園用地所有者に納付をいただいております。

問

国民健康保険税上限額の引上げ時期は

Q

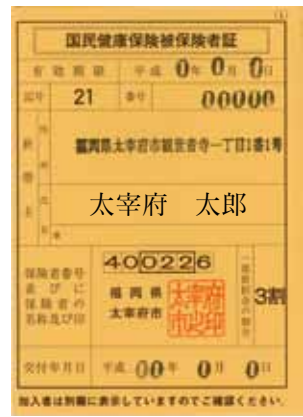
政府が国会に提出した社会保障制度改革のプログラム法案に、国保に加入する40歳から64歳の方がまとめて国保に納入している介護保険料が引上げられ、さらに75歳以上の高齢者が加入する後期高齢者医療制度においても上限額を引き上げる方針が示されている。これらの対応について、太宰府市はどのような形でタイムスケジュールを進めていくのか、また対象となる方の人数はどれくらいになるのか。

A

部長 賦課限度額の引上げについては、国が医療保険分は据え置き、

後期高齢者支援金等分は14万円を2万円引き上げ16万円に、介護納付金分は12万円を2万円引上げ14万円に、合計81万円とする方向で検討しています。

今後、平成26年度税制改正大綱の閣議決定、地方税法等の改正などを経て、本市国民健康保険条例の改正が必要となつてまいります。
なお、本市国民健康保険で、この対象となる世帯数は、現時点で、国保総世帯数1万243世帯のうち、後期高齢者支援金等分は200世帯、介護納付金分は101世帯となっております。



市民農園

わた なべ み ほ
渡邊 美穂 議員

- 介護保険制度の改変に対する市の対応について
- 総合体育館の建設について

こ とう く に はる
後藤 邦晴 議員

- 公共施設等の利用にかかる相互扶助精神の醸成について
- 体育施設の整備について
- 市施設の衛生面について

問

お互いさまの気持ちも大事に

Q 公共施設について「あの施設は若い人が利用する」「あの施設は高齢者向け」それなのに「貴重な税金を使つて不公平」など、人々の人生の中で、ある時期絶対的に必要な施設であるにもかかわらず、自己中心的な発言を耳にすることがある。

A この考え方を払拭すべく、市民の誰が必要なものという理解を持っていただけるような相互扶助に関する市民の醸成施策が必要だと思つたが、市長の考えを伺う。

市長 子育て世代や障がいのある方あるいは高齢者、子どもたちから

大人まで、共有できる施設整備や運用を図り、多様な価値観あるいは生き方の違いをお互いが理解できるようにしていきたいと考えています。

部長 平成26年4月1日には、市民の総合的な生きがいづくりと健康増進を図る視点をもつて組織機構改革を予定しているところであり、今後、多くの市民に参加してもらいながら、市民と一体となつて元気で生き生きとした地域づくりを行いたいと考えています。

この中で、市民の相互扶助の精神も培われていくと思つております。

問

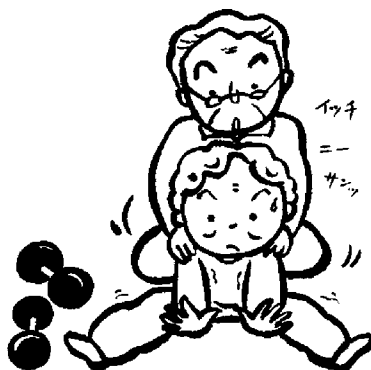
介護保険サービスのより一層の充実を

Q 平成27年度を用途に改変される介護保険制度について、本市でも第6期介護保険事業計画を策定しなければならぬが、策定に当たっては、新しい制度の課題や懸念材料について問題意識を持つておくべきだと考える。どのような手順と人員で策定される予定なのか伺う。

A **部長** 今回の改正については、団塊の世代が75歳以上になる2025年を見据え、高齢者や高所得者に経済力に応じた負担を求め、サービスの重点化、効率化を図り、持続可能で安定的な介護サービスを確保する観点から改正が検討

されています。改正案については、来年の通常国会に提出され、平成27年度から順次施行予定となっております。厚生労働省からガイドラインが明示された時点で、法改正に伴うさまざまな課題に対応できるように、詳細について検討していきます。

なお、事業計画については、平成26年度早々に高齢者の方を対象にニーズ調査を行い、7名で構成していただきます介護保険運営協議会のご意見をいただきながら策定していきます。



こう たけ 神武 綾 議員

- 土砂災害特別警戒区域について
- 五条保育所の保育士採用について
- 中学生におけるスマートフォンの影響について

こや なぎ みち え 小柳 道枝 議員

- 友好都市について

Q 土砂災害特別警戒区域について、三条一丁目は、平成15年の大雨により市有地である山が崩れ、麓の住民の自宅に土砂が流れ込み、お風呂が壊れるなどの被害を受けた。その際市の措置としては流入土砂の除去、県や国からの補助として、のり面の工事が行われた。平成17年には反対側の民有地の崖が崩れ、ブルーシートがかぶされたままである。この山の上にはお墓があり、のり面に金網が張ってあるが、さびびたり、間から草が生えてきており、落石防止になるのか不安に思っている。この地域の今後の対応について伺う。

A 部長 三条一丁目の墓地につきましては、平成15年豪雨災害でのり面崩落がありましたので、擁壁を設置し、その上にフェンスを張り、種子吹きつけ等災害復旧工事を行っています。その後10年程経過し、平成21年、平成22年の大雨時にも土砂流出や崩落はありませんが、南側のり面については平成22年の大雨時に、ブルーシート張、のり面上部の雨水集水ます及び排水パイプを施工し、さらに、平成25年にブルーシートを張りかえて補強をしています。

問

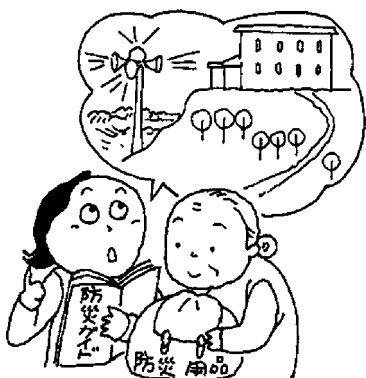
土砂災害の安全確保は万全か

問

中津市との友好都市盟約締結は

Q 本市では現在、大韓民国忠清南道扶餘郡と昨年新たに姉妹都市盟約を交わし交流がおこなわれており、国内では奈良県奈良市、宮城県多賀城市と友好都市盟約が交わされている。友好都市として親密な関係を続けていく中で平成17年3月の町村合併により、より身近であった大分県耶馬溪町が中津市となったことで友好都市関係が自然消滅した。行政間の交流は途絶えたものの市民間交流はまだまだに根強く続いている。いま一度、全市民レベルの交流に広めていけるよう中津市との友好都市盟約締結の考えはないか伺う。

A 部長 平成17年3月の旧耶馬溪町と中津市との合併により平成4年に締結した友好都市としての協定は自然消滅ということになっております。旧耶馬溪町との友好都市としてのえにしによりまして相互に民間交流が継続をされているところであります。しかし旧耶馬溪町との交流が中心であることから、直ちに大分県中津市との友好都市締結ということは難しいのではないかと現時点では考えております。草の根交流の裾野を市民交流で広げていければと考えているところでございます。



旧耶馬溪町の皆さんも参加(平成18年度太宰府市民政庁まつり)

うえ
上つとむ
疆 議員

- 太宰府天満宮の湯の谷駐車場のトイレ改修及びかまど神社の駐車場及び渋滞対策等について
- 松川運動公園について
- コミュニティバスまほろば号について

A

部長 ①長寿クラブ連合会が太宰府天満宮のご厚意で場所を貸している。

Q 次の二点について伺う。
①湯の谷駐車場は、長寿クラブ連合会の運動会などの行事、幼稚園の運動会など開催されているが、高齢者の方からトイレが和式で使いづらいため洋式に改修を求める要望があるが、市の考えは。
②かまど神社の駐車場と渋滞対策について、11月には新穀感謝祭が行われ当日は大渋滞となり、土日や祝日はずっとこのような状態が続くと思われるが、市の対策は。

ただいであり、利用者から改修要望があれば、太宰府天満宮に依頼されるべきものであると考えています。
②登山ブームによる宝満山登山客の増加、パワースポットとしてかまど神社が紹介され、多くの観光客が訪れるようになりまし。かまど神社では、参拝客用の駐車場の設置や警備員の配置、市としても渋滞対策としてのまほろば号の追走便や臨時便を走らせるなど、対策を講じています。
今後もイベント開催時の渋滞対策については、検討していきます。

問

駐車場と渋滞対策は

ふく ひろ

かず み

福廣 和美 議員

- 空き家条例について
- 小・中学校の安全・安心対策について

問

空き家の適正管理を

Q

本年6月定例会でも一般質問したが、空き家条例について、再度伺う。
前回の一般質問に対する答弁では、空き家の適正管理に関する対策について、全国の空き家率は13%と過去最高で、本市の高齢化率も23.4%である。今後高齢化を要因の一つとする空き家の増加が予測され、防災、防犯、環境保全、景観など、様々な視点での対策が必要で、今後も関係課で協議を行い検討していくと回答されたが、現状について伺う。

A

部長 空き家については、火災、倒壊、不法侵入、犯罪誘発、衛生環境、景観の悪化などの問題が考えられるので、庁内の関係部署と連携し、協議を行ってきました。
本市においては、空き家の相談はまだ少ないですが、将来的に人口減少や高齢化等の進展によって管理が不十分な空き家が増加することが予測されるので、対策が今後求められることも十分認識しています。
これらに対応するためにも、条例の制定を視野に入れ、検討していきます。



かまど神社駐車場



かど た なお き
門田 直樹 議員

○WindowsXPのサポート終了について

Q 来年4月9日にウィンドウズXPの製品サポートが終了する。終了後は更新プログラム、問題発生時の対応などが受けられずセキュリティのせい弱性が高まり、悪意の攻撃を受ける事態が想定される。本市の所有ないしは管理・運用しているものは何台あるのか、システム等の更新にどれぐらいの費用を予定しているのか。また情報技術利用の推進には専門知識を持った責任者（CIO）が不可欠と考えるが本市の場合誰なのか。併せて平成15年制定の情報化推進計画の続編はあるのか伺う。

問
セキュリティ対策は万全か

A 部長 本市では問題の重要性を十分に認識し、ご指摘の事態を避けるためアップグレード等の対策を準備しています。現在市で保有は867台で、そのうちXP搭載のノート型PCはMSiBをダウンロードして使用、残りはシンククライアント端末で、3月に一括してアップグレードします。約3%は買い替えを予定しており、総費用は500万円程度と考えています。CIOは副市長が努めており、推進計画はその後策定していません。今後はクラウドやデータセンターの利用も検討してまいります。



むら やま ひろ ゆき
村山 弘行 議員

○長浦台1号公園付近の五差路への信号機の設置について
○佐野東地区のまちづくりについて、今日の状況では遅々として進まない。ダイナミックな前進を求める。

問
早急な交通安全対策を

Q 長年、長浦台の歴代区長や自治会長により、筑紫野警察署に幾度となく足を運ばれ、要請を行ってこられた。これまで小さな人身事故は幾度も起きており、重大事故が起きる前に、ぜひ信号機の設置を関係機関に働きかけていただきたいと思うが、見解を伺う。

A 部長 この交差点付近は、通勤時間帯に交通量も多く、児童、生徒の通学路であるため、制限速度が30km/hにはなっていますが、交差点に向けて下り坂となっていることや両側に歩道があることから、通過する車両は制限速度をオーバーしているものと思われます。また、長浦台6号線の道路形状は直線ではなく、西校前交差点から左カーブを有する変則交差点で見通しが悪い状況になっております。今まで再三地元から要望が上がり、毎年筑紫野警察署に要望を行っており、今年度も協議を行いました。この道路のカーブした形状では、信号機は見えづらく、設置は難しいとのこと。このため、交差点内のカラー舗装化や文字による路面標示などにより交通安全対策を進めてまいりたいと考えています。



信号機の設置を